

令和7年度（2025年度）第3回東海市男女共同参画審議会 会議録

1 日時

令和8年（2026年）1月23日（金）午前10時から午前11時まで

2 場所

東海市役所301会議室

3 出席委員（8名）

会長 末盛 慶、会長職務代理 金子 典代、上尾 久美子、深谷 栄太郎、酒井 清明、大村 景子、荒木 映、早川 純子

4 欠席委員（4名）

蟹江 晃男、蟹江 眞由美、加来 恵子、加藤 龍子

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴者数

2名

7 会議日程

(1) 開会

(2) 議題

ア とうかいハーモニープラン～東海市男女共同参画プランⅣ～について

㊦ パブリックコメントの実施結果について

㊧ 答申書案について

㊨ 最終案について

㊩ 令和8年度（2026年度）の主な事業等の取組予定について

(3) その他

(4) 閉会

8 会議内容

(1) 開会

（事務局）

ただいまより、令和7年度（2025年度）第3回東海市男女共同参

画審議会を開催します。

**【末盛会長より挨拶】**

(2) 議題

ア とうかいハーモニープラン～東海市男女共同参画プランⅣ～について

㊦ パブリックコメントの実施結果について

**【次第に基づき事務局より説明】**

(末盛会長)

知多市における男女共同参画に関する計画の意見提出の状況はどのようであったか。

(早川委員)

10件くらいの意見があったと記憶している。

㊦ 答申書案について

**【資料1に基づき事務局より説明】**

(末盛会長)

新たに、「チャレンジアクション」として、計画本編に掲げられた基本目標と施策等に加え、本審議会委員が思い描く男女共同参画社会の実現に向けた新しい取り組みを市民・地域・団体・事業者・市などとの連携・協働により、中小企業の男女共同参画意識の啓発・促進などを試みる内容が加わったことはとてもよいことである。

全国的に見ても中小企業における男女共同参画は課題になっているところである。

資料2には計画の概要版があり、カラーで見やすい資料となっており、また、ハーモニープランということで音符がデザインされている。

お気づきの点や質問などの意見があれば発言をお願いします。

**【委員からの意見等なし】**

意見がないようなため、皆様にお諮りする。本答申書案を本審議会の最終的な答申書としてよろしいか。

**【意義なく、本審議会における答申書として決定】**

(ウ) 最終案について

**【資料2に基づき事務局より説明】**

(早川委員)

53ページの東海市男女共同参画審議会委員の名簿について、加来委員と蟹江委員の間に罫線が入っている。また、両名とも区分は「市内に住所を有する者」となるため、修正をお願いする。

概要版4ページのコラムの吹き出しに記載されている「アンコンシャス・バイアス」についても、改行により中黒が行頭にきているため、修正をお願いする。

(事務局)

修正する。

(早川委員)

概要版の裏面の9成果指標一覧の表について、枠内では天地をセンターに揃えているものの、いくつかずれている箇所があるため、確認をお願いする。

(末盛会長)

概要版2ページのコラムの文章3行目に「教授」とあるが「享受」であるので修正をお願いする。

(金子委員)

読みやすい資料である。用語解説やコラムもありわかりやすいと思った。

(末盛会長)

いただいた意見を事務局と検討の上、必要に応じて修正する。なお、

趣旨が変わらない程度の軽微な修正については、事務局一任とさせていただく。

**【意義なく、了承された】**

㊦ 令和8年度（2026年度）の主な事業等の取組予定について

**【資料3に基づき事務局より説明】**

（末盛会長）

具体的な事業に関するものである。令和8年度（2026年度）に実施される事業であり、市民の生活に直接関わる部分となる。委員からの意見が全て実現できるわけではないものの、アクセントを加えることができるので、様々な課題出しやアイデアをいただきたい。

（深谷委員）

冒頭の議題であるパブリックコメントの実施結果に戻るが、パブリックコメントが0件というのはどのようなことなのか。

市がさまざまな取組を進めている中、効果がないということなのか。または、認知度が低いのか。

私の肌感覚でも、商工会議所やロータリークラブで男女共同参画に関する話題が出ることはない。もし市民への周知・啓発が重要であれば、パブリックコメントを実施する前に、より丁寧な周知・啓発が必要ではないか。現状としては、発信しても自己満足で終わってしまうのではないか。予算の使い方はわからないが、もう少し市民に届くような対策や工夫が必要だと感じる。

5ページの事業に「ファミリー・フレンドリー企業登録制度」とあるがどのような制度か。「あいち女性輝きカンパニー認証制度」と同様のものなのか。

（事務局）

計画書の資料編に用語解説があり、98ページの中ほどに「ファミリ

「ワーク・フレンドリー企業登録制度」について説明している。愛知県の制度であり、市として単独で制度を設けたものではない。どちらかといえばワーク・ライフ・バランスを重視した考え方が先にあり、それに基づき企業を認証し登録する制度である。

(深谷委員)

登録する利点は何かあるのか。そのような制度に認定された企業であることを示す、という理解でよいか。

(事務局)

建設業が主となると思うが、県の入札における総合評価の過程でメリットが生じる場合もある。愛知県のホームページに登録企業として掲載されるので企業のイメージ向上にも利点がある。

(深谷委員)

理解できた。

(事務局)

パブリックコメントに意見はなかったが、例えば1ページの施策1の主な推進内容の1の事業名「男女共同参画啓発事業」については、まちづくり協働推進事業として、市民団体と行政が一緒にやっている事業である。令和7年度は約70人の参加があり、その方々に個別アンケートを実施しているので、その意見もふまえながら次年度に活かしていく。

70人が多いかどうかについては議論の余地があるが、草の根的に取り組みを進め、一つひとつを大切にしながら多くの方に広げていっている。まだ十分とは言えないが、一步一步を積み重ねていくことが重要であると考えている。この事業は、行政だけでなく団体とともに進めていきたいと思っている。

(末盛会長)

市民の生活に関わることなので、よろしく願います。

(大村委員)

11ページの事業名「産後ケア事業」について、私の時代と比べても、環境や出産に関する考え方は変化してきていると感じている。

この事業は1年間に7回利用可能とあるが、利用者に対して「どのような支援が良かったか」などのアンケートを実施することで、今後より効果的な事業になるのではないかと。

(末盛会長)

国としても肝いりで力を入れているところである。

(大村委員)

出生率、出生数も減少している状況であるため、こうした分野に力を入れてほしい。

(事務局)

本事業は健康推進課が主管している。いただいた意見は共有させていただく。現状、どのような形で事業のフォローを行っているのか把握しきれていない部分もあるが、先ほど大村委員から意見をいただいたように、実際に利用した方が「どの支援が嬉しいと感じたか」という視点での利用結果を把握することは非常に重要である。健康推進課も推進会議の委員として検討に加わっているため、次年度以降につなげられるかどうかも含め、調整・検討していく。

(末盛会長)

貴重な意見をいただいた。この支援がよかったという評判が広がれば、また変わってくるだろう。

他に意見はあるか。

(金子委員)

2ページの施策2「多様な性に関する理解促進」についてであるが、性の多様性に関する悩みや困りごとなどを無料相談できる窓口や出前講座が設けてあり、先進的でよい取り組みである。これは市の職員が実施するのか、または、NPOに委託するのか。

(事務局)

「多様な性に関する相談事業」については、専門的なNPOに委託しており、昨年8月から実施している。予約制になっており、現時点では相談実績はないが、次年度も継続して取り組んでいきたい。

「多様な性に関する出前講座」についても、現時点では実績はないが、市職員がNPOや早川委員の団体などが作成した資料を活用しながら実施していく予定である。

(金子委員)

東海市には日本福祉大学や星城大学があるので、大学と連携するのもよい方法なのではないか。

(末盛会長)

主な推進内容1の事業名「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度啓発事業」の事業内容の文章に「性的マイノリティ」とあるが、最近「マイノリティ」という言葉はあまり使われなくなっている。「LGBTQ+」で統一するほうがよいと思う。当事者からも、自らマイノリティと言わなくてもよいのではという意見があり、最近は見ない傾向にある。

(酒井委員)

計画を見て、初めて知った活動があった。県でも様々な取り組みが行われていることも理解できた。しかし、実際には知られていなかったり、必要としている人に情報が届いていなかったりすることが多いと感じる。チラシを作成し、ホームページに掲載することが多いが、市のホームページを見ても該当情報にたどり着けないことがある。見つけてもPDFとなっており、わかりづらい。今後は、閲覧者にとってわかりやすい資料であることが望ましい。

概要版も大変上手にまとめてあり良いと思うのだが、スマートフォンで見ると拡大が必要で文字が小さく見づらい。WEB版のように文字が大きく表示される形式のほうがよいかもしい。興味のある部分をクリックして進めるような構成であれば、若い世代にも届きやすいと思う。

県や市では難しい面もあると理解しているが、少しずつ改善されることを期待したい。

(事務局)

事業の周知に当たっては、東海市公式LINEを活用し、情報発信を

行っている。しかし、最終的にはPDFデータのチラシへ行き着く方法となっている。今いただいた意見のように、スマートフォンで簡単に閲覧できる見え方をイメージしながら検討していきたい。

(末盛会長)

概要版はスマホ版が作成できるとよい。大学の授業でも自治体の総合計画を閲覧することがあるが、文字が小さく見づらい。スマートフォンで閲覧することを前提とした媒体があれば、より多くの方にとって見やすくなると思う。

(荒木委員)

12月に開催した校長会で、小学校5年生と中学校2年生を対象としたアンケート調査についての話があがった。この学年に対してアンケートを実施することが多発している。また、一部の生徒からは「またか」という声もあがっている。ひとつのアンケートは数分で済むが、積み重なると大きな時間を割くことになる。経年比較の必要性があるので対象を変えることは難しいと思うが、改善の余地があれば、実施方法について検討いただけると幸いである。

(末盛会長)

肌感覚として、どれくらい実施されているのか。

(荒木委員)

年間5件くらいはある。

(末盛会長)

近年の先生方は、外部への対応も多く、なかなか大変である。先生方の負担にならないようにできればと思う。

(深谷委員)

多様な性に関する相談事業について、現時点で相談実績はないとのことであったが、具体的にはどのような状況なのか。

(事務局)

令和7年(2025年)8月から予約制で相談を受け付けているが、現時点の相談実績は0件である。毎月の広報やホームページでの掲載に

加え、民生委員の会議や小中学校の教頭会にも出向いて周知を図っているものの、情報が届いていないのか、相談しづらいのか、理由は定かではない。相談できる方は本人だけでなく、ご家族や事業者など幅広く受け付けているが、なかなか利用につながっていない。

(深谷委員)

関連するアンケート結果によると「先生に相談したい」という割合は非常に低く、10～20%程度である。先生には相談しづらいのではないかと思う。

(事務局)

先生自身が生徒への対応などを相談できる仕組みである。

(金子委員)

今は、ChatGPTに相談する生徒が増えている。その際、相談内容に応じて窓口につながるようなキーワード設定ができるとよいと思う。

(末盛会長)

今後は生成AIを意識した対策によって相談窓口をより多くの方に知ってもらいたい。「多様な性」よりも、「LGBTQ+」や「無料」、「匿名」などのキーワードのほうが適切であるかもしれない。

#### 【花田市長 入室】

(事務局)

末盛会長から答申いただきます。

#### 【末盛会長から花田市長へ答申書を手渡す】

(市長)

日頃より市政推進にご理解とご協力に御礼申し上げます。ただいま末盛会長より、「とうかいハーモニープラン～東海市男女共同参画プランIV～」の答申をいただいた。

委員の皆様におかれましては、令和6年度（2024年度）から6回にわたりご審議いただき感謝申し上げます。計画には委員の皆様の意見を反映させていただき、誰もが地域で認められ、多様な性について理解を深めていただきたいという思いも込め、「とうかいハーモニープラン～東海市男女共同参画プランⅣ～」という新たな名称とした。

今後とも皆様の意見をいただきながら、進行管理を進めていきたい。

概要版の表紙にもあるとおり、だれもが個性を認め合い、いきいきと活躍できるまちの実現に向けて、市民、地域、関係団体、事業者の皆様と一致団結して取り組んでまいりたい。引き続き、委員の皆様のご協力をお願いする。

【花田市長 退室】

(3) その他

【次第に基づき事務局より説明】

(末盛会長)

全体を通して何か意見はあるか。

(上尾委員)

非常にわかりやすくまとめていただいた。地域防災に関する内容も盛り込んでいただき感謝する。

(末盛会長)

本日の議題はすべて終了した。事務局に司会をお返りする。

(4) 閉会

(事務局)

以上をもって、令和7年度第3回東海市男女共同参画審議会を終了する。なお、会議録に関しては、末盛会長に確認、了承をいただいた上で公開する。